

■ 東京都交通局運輸系採用選考 筆記出題例 ■

【1】東京都交通局の環境に対する取組みに関する記述のうち、正しいものはどれか。選択肢の中から選びなさい。

- ア. 列車を走行させるモーターを、列車がブレーキをかけるときに発電機として働かせることで、走行エネルギーを電力に変え、利用する「電力回生システム」を搭載した車両を平成27年から逐次導入していく。
- イ. 新宿線の船堀駅をモデルとして、CO₂排出量の少ない環境にやさしい駅とバス停づくりに取り組んでいる。
- ウ. 都営バスでは、日本で初となる燃料電池バスの営業運行による実証実験を行ったことがある。
- エ. 都営バスは全ての車両がハイブリッド車両である。
- オ. 都電荒川線の専用軌道内は、全て芝で緑化されている。

【2】都営バスに関する記述のうち正しいものはどれか。選択肢の中から選びなさい。

- ア. 都営バスでは、現在、貸切バス事業は行っていない。
- イ. 全てのバス車両がノンステップバス化されている。
- ウ. 一部の路線を除き、PASMOを使って都営バスから都営バスに60分以内で乗り継ぐ場合、2乗車目の運賃は自動的に割引される。
- エ. 都営バスでは、現在、深夜バスを運行していない。
- オ. 全てのバス車両にAED（自動体外式除細動器）を設置している。

【3】都営バスをはじめ、東京さくらトラム(都電荒川線)、日暮里・舎人ライナー、都営地下鉄を一日に限り何回でも乗車できる乗車券の正しい名称はどれか。選択肢の中から選びなさい。

- ア. 東京フリーきっぷ
- イ. 東京1DAYきっぷ
- ウ. 都営deぐるっとパス
- エ. 都営まるごときっぷ
- オ. TOKYO探索きっぷ

【4】関係法令により選任することとされている、輸送の安全を確保するための管理業務を統括する「安全統括管理者の責務」に関する記述のうち正しいものはどれか。選択肢の中から選びなさい。

- ア. 安全に関する取組については、経営トップに権限があるため、安全統括管理者が自発的に経営トップに提案をすることは望ましくない。
- イ. 安全統括管理者は、事業者の輸送の安全の確保に関する基本理念として、安全管理にかかわる事業者の全体的な意図及び方向性を明確に示した安全方針を策定する。
- ウ. 安全統括管理者は、安全管理体制が適切に運営され、有効に機能していることを確認するために、安全管理体制の機能全般に関し、少なくとも1年毎にマネジメントレビューを行う。
- エ. 安全統括管理者は、安全管理体制を構築・改善するために、かつ、輸送の安全を確保するために、運行管理者等に指示するなどして、必要な要員、情報、輸送施設等が使用できるようにする。
- オ. 安全統括管理者は、安全管理体制上の問題点について把握し、安全を確保するために必要な仕組みについて、経営トップに提案する。

【5】道路交通法に定める停車及び駐車を禁止する場所に関する記述のうち、誤っているものはどれか。選択肢の中から選びなさい。

- ア. 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に十メートル以内の部分。
- イ. 乗合自動車の停留所又はトロリーバス若しくは路面電車の停車場を表示する標示柱又は標示板が設けられている位置から十メートル以内の部分。
- ウ. 横断歩道又は自転車横断帯の前後の側端からそれぞれ前後に五メートル以内の部分。
- エ. 安全地帯が設けられている道路の当該安全地帯の左側の部分及び当該部分の前後の側端からそれぞれ前後に十メートル以内の部分。
- オ. 交差点の側端又は道路のまがりかどから十メートル以内の部分。